

2022年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

新日本空調株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、新日本空調株式会社（代表取締役社長：前川 伸二）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の新日本空調株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「顧客に対する誠実さ」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 気候変動への対応に向けて、「2050年度までに Scope1~3 の CO2 排出量をゼロに」「2030年度までに Scope1+2 の CO2 排出量を 2021 年度対比 46.2%削減」等の中長期目標を設定。また、熱源機器の運用を自動で最適化する「EnergyQuest®」や、CO2 の局所施肥制御技術「C-BRES®」を開発し、製品・サービスの提供を通じて省エネや省 CO2 に貢献しておられる点。
- ② 安全品質および製品の安定供給に関する方針を策定し、安全品質の担保と向上および安定供給の継続のための体制構築と継続的な運営改善を実施。また、微粒子可視化システム「ViEST®」を開発し、製品・サービスの提供を通じて感染症の拡大防止策に貢献しておられる点。
- ③ サステナビリティ方針において、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していく姿勢を明確に示し、コーポレートサイトや SNK レポート（統合報告書）でトップメッセージとして積極的に発信。また、CSR マテリアリティ（重要課題）を特定し、各マテリアリティに対応する具体的な目標を設定の上、直近年度の実績と進捗評価を詳細に開示しておられる点。

加えて、事業を通じて、SDGs が示す目標達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「E S G / S D G s 評価融資」により、お客さまのE S G / S D G s への取組を、金融を通じて支援してまいります。

以 上